

# 日本小学生バレーボール連盟指導者資格要領

鹿児島県小学生バレーボール連盟

競技委員長 田中 憲一

## (目的)

この要領は、バレーボールの普及・発展に寄与する小学生バレーボール指導者の指導者資格の範囲や、ファミリーマートカップ全日本バレーボール小学生大会などにおいて、ベンチ入りのための参加要件など、小学生バレーボール指導者資格としての取り決めを示すものである。

## (日本小学生バレーボール連盟認定指導者とその有効期限)

- ① 全国小学生バレーボール指導者講習会(以下全国講習会と略す)一次講習会の受講者は、日本小学生バレーボール連盟(以下日小連と略す)初級指導者として認定する。
- ② 全国講習会二次講習会の受講者は、日小連中級指導者として認定する。
- ③ 全国講習会三次講習会の受講者は、日小連上級指導者として認定する。
- ④ 上記の日小連認定初級・中級・上級指導者は、指導者講習会を受講した日から4年間(有効期間)の間に資質及び指導力向上のため、日小連が開催する講習会を有効期間中に少なくとも1回は受講しなければならない。(28年度開催講習会も含み、29年度より本格実施となる)

## (全日本バレーボール小学生大会におけるベンチ入りの要件)

- ① ブロック・地区予選会においては、日小連初級指導者以上(中級・上級・日体協資格)が最低一人はベンチに入っていないなければならない。
- ② 県最終予選会(県大会)においては、日小連中級指導者以上が最低一人はベンチに入っていないなければならない。
- ③ 全国大会においては、日本体育協会認定バレーボールの指導員以上(上級指導員・コーチ・上級コーチ)または日小連上級指導者の資格取得者がベンチ入りしなければならない。
- ④ 日体協資格の時限特例措置として、受講終了後手続きまで時間を要するため、大会に間に合わない場合は県小連理事長が証明書を大会実行委員会あてに提出することで参加できる。
- ⑤ 県大会等については、一次・二次講習会も資格取得予定者として、県小連理事長が許可することができる。

## (その他の要件)

- ① スポーツ少年団交流大会においては、すべての大会において、スポーツ少年団認定指導員が複数(2名以上)ベンチ入りしていることが義務付けられている。(育成員も可)全国大会の場合は資格取得者がベンチ入りしなければならない。
- ② 小学生バレーボールの指導者は、公益財団法人日本バレーボール協会のMRSに、チームスタッフ(TS)として登録をしなければならない。尚、登録をしていない指導者は大会においてベンチ入りをする事ができない。
- ③ 小学生バレーボールの指導者は、チームの指導にあたり、宣誓書によりその指導における姿勢を宣誓しなければならない。宣誓の際は、指導者の状況把握のために各指導者の資格に関する情報等を提供するものとする。(個人情報目的外には使用しない)